

「上町町内会の皆さんと町長との語る会」記録（H28.8.24） 参加者 男性10人・女性3人

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
1	昨年の秋に、上町と中町で北月山荘行きとして、町のバスの借用手続きをしたが、飲酒が伴う為借用不可だった。高齢者は自分達では運転できないので、もう少し融通がきくようお願いしたい。	「副町長」 福祉バスは老人クラブについては随分配慮しているつもりではあり、担当課に伝えるが、すべての要望を叶えることは難しい。	総務課	左記回答のとおり。なお、町有バス貸し出しに関する事務取扱要領に定める貸出基準により対応しているところである。
2	対馬のガラスハウスの進捗状況について確認したい。	「町長」 対馬のハウスは地権者と構成員で話し合いを進めているが、借りて利用したくとも、修繕に1棟あたり1千万ほどかかる。今までも借りたいと手を挙げる人がいたが、費用がかかるためなかなか解決しない。現段階では、風で資材が飛ばないように対応する等、地元で迷惑が掛からないように所有者に対して管理を指導している。	産業振興課	（左記回答のとおりです）
3	両田川橋の期成同盟会を作っても空念仏とならないように働きかけをお願いしたい。	「町長」 期成同盟について、今回は庄内一丸となって進めている。11月に知事のタウンミーティングが三川町で開催されるため、その際も活発に要望して貰いたい。猪子・天神堂間の防雪柵についても県に強く働きかけている。	建設環境課	（左記回答のとおりです）
4	ふるさと納税の返礼として、空き家対策のひとつとして一時帰郷者用の宿泊施設にしてみてもどうか。	「町長」 全国的には返礼として、空き家を「体験宿泊」として利用しているところもある。	企画調整課	今年度中に、利用可能な空き家の所有者等の意向を確認した上で、「空き家バンク」への登録を勧めることにより、本町への移住定住に繋げる事業を推進する予定であり、ふるさと納税の返礼のメニューとしては考えていない。
5	はっぴー米メモリアルの事業はいつから始まっていて、どれくらいの量を貰えるのか。	「企画調整課星川」 6月から。2合(300g)×3品種。 「副町長」 さらに、10月からは出産時に花王製のオムツを1パック贈呈。	産業振興課	（左記回答のとおりです）

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
6	使える空き家はどれくらいあるか、都会に向けて空き家をPRしてみてもどうか検討してもらいたい。	「副町長」 空き家対策として空き家バンクを今年立ち上げたが、貸し出しの条件は持ち主の意向が大きい。空き家バンクに1戸登録があったが、1週間で売れてしまった。需要は大きいものと思っている。 「企画調整課長」 昨年度空き家実態調査を行い、空き家149戸のうち、修繕不要で使用可能な空き家は45戸であった。今後、持ち主への意向調査を行う予定である。	企画調整課	今年度中に、利用可能な空き家の所有者等の意向を確認した上で、「空き家バンク」への登録を勧めることにより、本町への移住定住に繋げる事業を推進する予定である。
7	自転車で両田川橋を通る際、車の邪魔をしている気持ちになるため、道路幅を広くするか、歩道を作って欲しい。路面も凹凸があり不安である。	「副町長」 先ほどの回答のとおり、要望活動を続けていく。道路幅の拡張、ならびに歩道を作るのは難しいため、架けかえに向けて引き続き働きかけていく。	建設環境課	(左記回答のとおりです)
8	押切には商店がない。押切にイオンの支店やコンビニ等の誘致はできるか。	「町長」 買い物支援としてラコスの送り迎え等の支援がある。JAや民間企業でも独自の食材宅配サービスを実施している様子である。	健康福祉課	(左記回答のとおりです)
9	非核のメッセージを以前は役場に掲げていたが、現在は掲げていない。継続して掲げてはどうか。	「副町長」 以前掲げていた三角塔のメッセージは、下ろしたわけではなく、強風により破損して撤去しただけであり、所管に伝える。 「町長」 既に「平和非核を掲げた町」として、町民に深く理解して頂いているため、改めて掲げる必要性は少なく思われる。	総務課	(左記回答のとおりです)
10	空き家の解体・撤去に関わる助成事業の利用者はどれくらいいるのか。	「副町長」 所得制限があるため、(町民税非課税世帯、生活保護受給世帯等)現時点で利用者はいない。	建設環境課	(左記回答のとおりです)
11	三川は鶴岡にも酒田にも近い。それを活かし物流倉庫や事業所ができれば雇用が増え、三川に住む人口も増え活性化が望める。	「町長」 物流の倉庫の拠点が三川にも必要と感じた。産業団地も含め対応していきたい。イオンモール等からは従業員用アパートの要望もあるが、アパート経営のリスクもあるため、難しい。	企画調整課	(左記回答のとおりです)

No.	質問事項等	答弁等	対応課等	各課の対応
12	企業誘致の目的は何か。雇用・税収以外で望めるものがあるのか。	「町長」 一番は地域の経済が循環することが狙い。雇用が生まれれば、地域の経済を回せる連鎖に期待している。	企画調整課	(左記回答のとおりです)
13	企業の雇用の助成はあるのか。一番大きいのは雇用であり、地元の企業が町民を採用する道筋が必要ではないか。	「町長」 今の所はない。地方の若者が県外の大学に行ったまま定住する事例に対し、地元に戻ると育英奨学金の返還を免除する動きを参考にすることも今後必要と感じる。	産業振興課	(左記回答のとおりです)
14	豊秋団地内の道路の外側線やセンターライン、止まれの表示が消えかかっているものが散見されるため、対応を希望する。	「町長」 国・県道以外は町がしており、公安委員会に協議しながら対応している。一時停止のラインは警察の管轄のため、町では対応できないが、町内会を通して言ってもらいたい。 「副町長」 豊秋団地のことは、担当課に伝えて、現場を見て対応させていただきたい。	建設環境課	豊秋団地内における区画線の状況、及び道路の利用状況を確認し早期に対応したい。
15	三川は合併していないため東田川郡表記で若干不便である。住記表示を簡易化する事はできないか。	「町長」 企業から要望も出ているが、費用がかかる上、手続きが容易ではないため難しい。	総務課	(左記回答のとおりです)
16	ごみの焼却問題について報道されたが、どのような考えでいるのか。金銭的負担はどの程度か。	「町長」 方式を今まで通りとする事に色々な受け止め方がある。町民よりごみの減量に協力頂いており、昨年より燃えるごみの排出量が大幅に減少した。方式はどうかであれ、町民をあげてごみを減らせば負担金も減る。 「副町長」 負担については、今、担当課レベルで協議中であるが、現時点では4千～5千万円。新たな施設が必要であれば建設費用等を負担しなければならないため、倍は覚悟しなくてはならないだろうが、引き続き協議が必要。	建設環境課	(左記回答のとおりです)
17	メタボ対策として、教育施設のプールを週1～2回ほど大人も利用できるよう開放してほしい。	「副町長」 教育施設の開放は現状難しい。	教育委員会	小学校のプールは、開設期間中は水泳等の授業がほぼ毎日予定されており、夏休み期間中のプール開放とともに相当数の児童が使用しています。そのため、学校プールを一般使用に供することは難しいと判断される。